

足立区立第七中学校 学校長 佐藤 秀直 様

足立区立第七中学校 開かれた学校づくり協議会

令和2年度 学校関係者評価書

1. 自己評価書全般について

今年度は、新型コロナウイルス対策により予定されていた学校行事や部活動が思うように実施することができなかった。第七中学校の生徒はそんな状況の中でも真面目に前向きに学校生活に取り組んでいると考える。教職員も、生徒の健康・安全を第一優先に校務に取り組んでおり、令和2年6月の休校明けから現在も継続して行っている全教職員による放課後校内消毒は素晴らしい取り組みである。また、こんな困難な状況の中での授業の充実や、生徒の精神面のバックアップにも力を注いでいることが以下の生徒アンケートの結果でも読み取れる。

令和2年度 学校評価 生徒アンケート・授業アンケート結果の一例	令和元年度	令和2年度
授業規律を守り、落ち着いた雰囲気の中で授業を受けることができ楽しい	73%	85.2%
先生の教え方がいろいろ工夫され、授業が分かりやすい	87%	93.2%
基礎的・基本的な学力が身につけてきた	80%	81.0%
少人数授業は意欲的・積極的に取り組むことができ、自分自身の役に立っている	77%	81.6%
一日平均30分以上、家庭学習をする習慣が身につけている	52%	58.9%
朝読書を含めて、月2冊以上読書をしている	43%	47.7%
毎日遅刻せず、楽しく、安心して登校できている	84%	86.5%
自分の活動を、クラスの人に認められていると感じる	60%	61.0%
思いやりをもって、友人と接するように心がけた	88%	90.1%
学級での居心地が良く、落ち着いて生活ができている	74%	82.1%
先生や生徒同士、また来校者に対し、よくあいさつができている	88%	89.9%
身だしなみなど、学校生活のルールを守って生活している	88%	93.4%
班員と協力して、まじめに清掃等の当番活動に取り組んでいる	89%	92.1%
よい雰囲気の中で授業が行われていた	89%	94.4%
授業に取り組む姿勢が先生や学級の人に認められていると感じる	87%	89.4%

体力向上や食育の観点からも給食残菜量の減少に取り組んでおり着実に残菜が減少している。

給食残菜量の推移	令和元年度	令和2年度
全残菜率	6.6	5.6 (前年比-1.0)
牛乳残乳率	7.0	6.4 (前年比-0.6)

2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

開かれた学校づくり協議会としては、生徒の学力も上昇傾向にあり教員の指導力も身につくにつれ第七中学校の教育活動全般の成果（健康・安全対策、給食残菜量の減少等含む）に関して満足しており、このような教育実践を引き続き継続し、さらにすばらしい学校づくりの推進を強く希望するものであり、そのために全力で協力体制を確立していく所存である。

3. その他

第七中学校が独自に推進している学力向上の取り組みは、教職員が一丸となって実践しており評価できる。特に「数学・英語における単元テスト」の取り組みは生徒の基礎学力の定着と意欲の向上にたいへん効果的であると考えられる。学校経営力を発揮して教員のチームワークも高まっており、委員の中でも高い評価を得ている。3年連続抽選校となっていることも高く評価できる要素である。新型コロナウイルスの感染がおさまリ、行事や部活動が実施できることが早く訪れることを切に望んでいる。